

下鼻甲介レーザー手術（レーザーによる鼻腔粘膜焼灼治療）について

※適応：アレルギー性鼻炎、花粉症、肥厚性鼻炎、点鼻薬性鼻炎、慢性鼻炎などのある方で、

- ・これまで耳鼻咽喉科や内科等での一般的な治療方法では、症状の軽快がみられなかった難治性の方。
- ・重症であって、特に鼻閉（鼻づまり）の症状を改善するには強い薬や時間を要すると考えられる方。
- ・薬の治療が制限される妊婦さんや妊娠を希望される方、他にも疾患があつて薬の使用を控えたい方。
- ・薬が嫌い、薬で眠気やだるくなるなどの副作用が出る方。（最近では眠気の出ない薬もあります）
- ・年中、鼻水や鼻づまりがひどいため、薬を飲み続けていないといけない小児・学童・生徒の方。

※レーザー治療の特徴

次のような特徴をもち、安全かつ短時間で簡単にできます。

- ①従来の手術的粘膜切除や薬物による粘膜焼灼に較べて、痛みや出血が殆どありません。
- ②5分ほどの短時間で済みます。安全性が高く、妊婦さんや小児でも、日帰り手術が可能です。
- ③鼻炎治療のためのレーザー手術には健康保険が適応されます。

手術料は1回1側につき3割負担の方で2,700円と決められています。

※実際の手順について

①局所粘膜麻酔；鼻腔内に麻酔液のついた綿を20～30分入れて行う塗布麻酔です。前日の食事制限など、準備は不要です。両側の鼻づまりがそれほど苦痛にならないければ、両鼻のレーザー治療も可能ですが、初回の方では、どちらか片方のレーザー治療をしていただくことをお勧めしています。

②レーザー手術；両鼻でも数分程度です。治療中は口で吸って、鼻へ吐く呼吸をゆっくりして下さい。その後、お風呂、食べ物など日常生活の制限はありません。当日軽度ですが痛みを感じる方がありますので、念のために消炎鎮痛剤や術後の炎症を抑える目的で抗ヒスタミン剤を処方しています。

③レーザー手術後の経過；術後2、3日はクシャミ、鼻水、鼻づまりが逆にひどくなります。治療後には鼻血が混じることがありますので、鼻を強くかまないようにして下さい。レーザー手術後1～2週間は鼻づまり、痛み、刺激感、発熱などの不快な症状がでることがあります。鼻の処置をすると楽になりますので、当院を再来されるか最寄りの耳鼻咽喉科で治療を受けて下さい。1週間程度経過する頃から症状は軽くなりますから、引き続いて反対側のレーザー治療を行っていただけます。

※レーザー治療の効果について

この治療の鼻閉に対する有効率は90%以上ですが、1回の照射では効果不十分な事もあり、良くなるころまで安全に繰り返すことが出来ます。治療効果は個人差が大きいのですが、2～3回の照射で平均2年ぐらい快調です。1回の治療でも経過の良い方は、症状が辛くなった時点で再照射のために来院していただくという方針でも結構です。もつ方は数年以上快調となり、人によってはたまに薬を使う程度で、他の治療は不要になります。スギ花粉症の予防にはシーズン前年の秋頃から、隔月位で2～3回の照射を繰り返すことをおすすめしております。レーザー治療は同側を月に一回に限りです。

※次のような方はレーザー治療が困難です

- ・鼻中隔彎曲症の強い方・簡単な鼻処置も出来ない方や神経質な方・一人で治療椅子に座れない小児

☆ご注意

レーザー術後には内視鏡で鼻内を厳重にチェックし、モニターで御供覧しております。極めて希ですが、麻酔や止血処置に用いた綿が鼻の中に残って鼻づまりの原因になったり、のどの方に廻る事があります。レーザー治療後の炎症性反応や発熱、かさぶたの付き方も個人差が非常に大きく、不快な症状が続くときには必ず再来して頂き、鼻の処置や投薬をお受け下さい。術後、症状が軽快している方はそのまま結構です。

当院では原則として片側ずつ手術することをお勧めしていますが、術後に両側の鼻閉で苦しくなることがあります。その場合には通院治療する必要があることを了解して頂ければ、両側同時も可能です。